

良心学

(2016年度)
RY 105

公害と環境問題における「良心」

第15回(7月25日)

和田喜彦
経済学部(エコロジー—経済)

結論

- **結論(A):公害と環境問題における「良心」とは(現場編)**
- **結論(B):公害と環境問題における「良心」の「覚醒」を促進するための工夫(教育編)**
- **結論(C):「良心的行動」を促進するための工夫 (現場と教育の両方)**
- **結論(D)公害と環境問題における「良心」の研究(研究編)**

結論(A)：公害と環境問題における 「良心」とは(現場編)

- 1) 政治的な圧力に左右されず、客観的な事実に基づき真実を語る勇気を持つ。
- 2) 社会的弱者、未来世代など、被害者の立場に立って物事を判断しようとする姿勢。
- 3) 企業は被害を発生させないよう、万全の予防対策を採用する。短期的な経済的コストベネフィット論から脱却。
- 4) 加害者となった者は、自らの過失を潔く認め、できるだけ被害を最小限に留めることに努め、責任を取る勇気を持つこと。傲慢でなく、謙虚なこと。「自責の杖」

結論(B): 公害と環境問題における 「良心」の「覚醒」を促進するための工夫 (教育編)

- 1) 公害は現在も世界中で発生し、被害者や家族の苦悩が継続して存在していることを自覚する。
- 2) 具体性 (Concreteness) ・ 具体的事実 (Concrete Facts) を深く知る。
- 3) 中・高・大の歴史教育・環境教育・公害教育の中で、具体的な・加害と被害の中味・原因を、証言とともに、映像を交えて学習する。
- 4) 教育現場・環境教育で要求されることがある「政治的中立」という立場は、どちらかというに加害者側の立場に立つことにつながり、現状を容認する結果となることを自覚する。
- 5) 共感力 (Empathy) を涵養し、被害者の立場から物事を考える能力を身に着ける。(喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。ローマの信徒への手紙12:15)

結論(C): 良心的行動を促進するための工夫 (現場と教育の両方)

1) 良心的に行動しようとする時に、自らの所属する組織や国の政策や方針に反することになる場合がある。実際に、国や組織の方針に個人が逆らうことができるか。

- ⇒ 良心的兵役拒否の制度から学べないか？
- 例: 「良心保護法」？ 良心的行為による名誉回復

国民栄誉賞の対象？

「党議拘束」の禁止？

世界文化遺産への登録

結論(C): 良心的行動を促進するための工夫(現場と教育の両方)

2) 組織が高らかに倫理的規則、ガイドラインなどを持っていたり倫理的行動を行うと宣言していながら、それを実行しない場合がある。

- ⇒ 倫理的行動規則を守ります、という誓約書を、組織長以下、全ての職員に書かせる。誓約を破った場合には、社会的制裁を受けますという文言を必ず含める。

結論(C): 良心的行動を促進するための工夫(現場と教育の両方)

- 3) 「良心教育」を全世界の学校で実施する。
- 4) 良心を基に行動を起こした人物の伝記本の整理、教材開発(ロールモデル)

例1: 横浜市鶴見警察署長、大川大吉。関東大震災(1923年9月1日)にデマが元で、朝鮮人大虐殺。自らの身体を張って朝鮮人を守った。

- 例2: 田中正造、ガンジー、M.L. キング牧師、D.ソローなどの非暴力抵抗運動

結論(D)公害と環境問題における「良心」 の研究(研究編)

- 1) 近代化の歴史を読み直す。近代化の中で公害が隠蔽されたり、因果関係がねじ曲げられたりした**隠蔽の歴史・被害者放置・人権侵害の歴史**を明らかにする。
- 2) 歴史だけではなく、**現在進行形の公害の隠蔽、被害者放置・人権侵害の研究**。例：福島20ミリシーベルト問題、甲状腺がんなど多発、九州電力川内原発・重要免震棟問題、マレーシア・中国のレアアースによる放射能汚染、エクアドル・インタグでの鉱山開発、シェールガス開発、リニアモーターカー、高江のヘリポート、メガソーラー発電所(自然エネルギー、低炭素社会ならば何でも良いのか?)、、、。
- 3) **戦争と環境、基地と環境、核の軍事利用・平和利用と環境、放射能汚染と人権侵害、ウラン鉱山(川上)から使用済み核燃料(川下)・・・などの視点から歴史と現状の再検討(IAEA, ICRP、政府、などによる低線量被曝の強要・・・)**

結論(D)公害と環境問題における「良心」の研究(研究編)

- 4) 近年の政府による**表現の自由**(憲法21条)の侵害・メディア統制・情報操作:
⇒ 公害・環境・人権問題の隠蔽
- 5) **貿易の自由化と環境**、TPP(ISDS条項=投資家対国家紛争解決条項)
- 6) **遺伝子組み換え作物(GMO)と環境**
- 7) 公害の歴史の中で、「**良心的行動**」をとった人物の発掘、経緯の研究。「**良心的行動**」をとれなかった人物の発掘。